

東日本大震災で全壊した酒蔵とアートがコラボレーション 最高級日本酒「NIIZAWA」と「NIIZAWA KIZASHI」 12月7日(月)発売開始!!

ARTLOGUE(一般社団法人 WORLD ART DIALOGUE(大阪・代表理事 中川眞))は、2015年12月7日(月)、株式会社 新澤醸造店(宮城・代表取締役兼社氏 新澤巖夫)と共に「NIIZAWA Prize by ARTLOGUE」によって選ばれたアーティストが描いたラベルの最高級日本酒「NIIZAWA」と「NIIZAWA KIZASHI」の発売を開始します。

この賞は世界トップレベルのアーティストに大賞を、新進気鋭のアーティストには兆し賞を贈呈し、その方々の提案するラベル用デザインを、その年生産する二種類の日本酒の瓶に採用するものです。選抜は推薦者による推薦、そして審査委員による審査を経て、行われました。

GRAND PRIZE 霊嘔

NIIZAWA 720ml 60,000円 税別

KIZASHI PRIZE 狩野哲郎

NIIZAWA KIZASHI 720ml 40,000円 税別

なお、「NIIZAWA」と「NIIZAWA KIZASHI」は、東日本大震災で酒蔵が全壊した、株式会社 新澤醸造店の製造する7%まで精米した最高級酒です。この日本酒が復興の一つの象徴になると確信しています。

このプロジェクトによって、優れた現代アーティストの顕彰を行い、その一方で日本酒という日本の伝統的な文化遺産の価値を世界に発信し、これを振興していく、極めてユニークな試みです。

また、「NIIZAWA」と、「NIIZAWA KIZASHI」の売上の一部は、文化芸術の振興に寄与する活動に使わせて頂きます。

つきましては、日本の伝統文化と現代文化の国際的な振興とというユニークな試みの趣旨を御理解いただき、周知のご協力賜りますようお願い申し上げます。

「NIIZAWA Prize by ARTLOGUE」 サイト

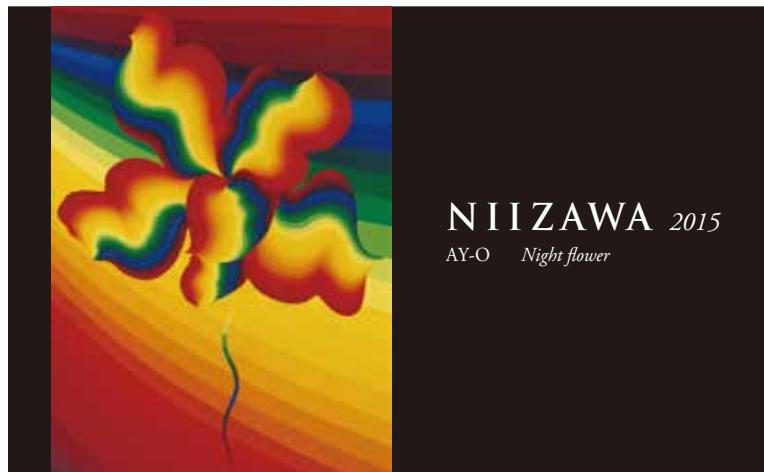
<http://www.artlogue.org/#!niizawa/qr386>

サイトには青柳正規 文化庁長官からのメッセージも掲載しています。

本件に関するお問い合わせ

ARTLOGUE(一般社団法人 WORLD ART DIALOGUE) 担当:鈴木
531-0071 大阪府大阪市北区中津3-25-2 北梅田パークレジデンス302
contact@curatorstv.com TEL:06-6147-6977 FAX:020-4665-9667

第1回「NIIZAWA Prize by ARTLOGUE」受賞者



「NIIZAWA」ラベルサンプル

大賞 豊嶋

「作家略歴」

1931年茨城県生まれ。1950年代、デモクラート美術家協会に参加。明るい色彩の絵画で注目された。1958年、ニューヨークに渡り、「エンヴァイラメント」と呼ばれる触覚的で体験的なインスタレーション作品を制作する。すべてのものに光のスペクトルの順に色で覆う作品を開始し、以後、「虹のアーティスト」として知られるようになる。ニューヨークのフルクサスの最盛期に、その中心的なアーティストとしても活躍した。指を入れて鑑賞する《フィンガー・ボックス》など、触覚を使った作品でも知られる。エッフェル塔やワールドトレードセンターなどにおける屋外の大規模な展示をおこなう他、アクリルやシルクスクリーンなど多くの平面作品も制作している。2011年、東京都現代美術館で大規模な回顧展を開催した。現在、茨城県在住。



「NIIZAWA KIZASHI」ラベルサンプル

兆し賞 狩野哲郎

「作家略歴」

1980年宮城県生まれ。東京都在住。2005年東京造形大学造形学部デザイン学科環境デザイン/都市環境コースを卒業した後、2007年に同大学院造形研究科美術研究領域修士課程/絵画コースでMFAを取得。

近年の主な個展に「自然の設計 / Naturplan」(2011、ブルームバーグ・パヴィリオン・プロジェクト、東京都現代美術館)、「一本で複数の木 / Protean wood」(2012、YUKA TSURUNO、東京)、「あいまいな地図、明確なテリトリー / Abstract maps, Concrete territories」(2013、モエレ沼公園、札幌)、「絵か彫刻 / Paintings or Sculptures」(2014、YUKA TSURUNO GALLERY、東京)。グループ展に「呼吸する環礁—モルディブ - 日本現代美術展」(2012、モルディブ国立美術館、主催:国際交流基金)、「庭をめぐれば」(2012、ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡)、「想像しなおし In Search of Critical Imagination」(2014、福岡市美術館)、「Conditional landscape」(2014、グシュテリツア福音教会、シビウ、ルーマニア)など。

【販売価格】

NIIZAWA	720ml	60,000円 税別
NIIZAWA KIZASHI	720ml	40,000円 税別

【販売開始】

2015年12月7日 大安 (予定)

【選定委員会】

選定委員長:南條史生(森美術館館長)
選定委員:建畠 哲(全国美術館会議会長、多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長)
松本大(マネックスグループ株式会社社長CEO)
推薦委員:非公開

【主 催】

ARTLOGUE(一般社団法人 WORLD ART DIALOGUE)
株式会社 新澤醸造店

ARTLOGUEの前身「キュレーターズ・ティービー CURATORS TV プロジェクト」は、美術館、アート施設などで行われているギャラリートーク(作品解説)映像を一次資料(リソース)とし、それを大量収集、保存した上で、インターネットを通して配信することにより、アートへのアクセシビリティの向上、理解の促進、アートに対する地域間や身体的格差の是正を目標としたプロジェクトです。CURATORS TV プロジェクトは、2010年大阪市立大学都市研究プラザにおけるグローバルCOE「社会的包摂と文化創造に向けた都市の再構築」の一環として始まり、2年間の準備期間と1年間の実施を経て、2013年4月に一般社団法人 WORLD ART DIALOGUE(ARTLOGUE)を設立いたしました。学術研究上の共有リソース構築に加え、市民へのサービスを含む社会性の高い事業へと練り上げてゆくことを視野に入れ、必要に応じ、大学内での事業、社会での事業という形に切り分けながら、社会的インフラとしてアクセシビリティの高いコミュニティを形成することが目的です。

また、経済不況の中、余暇市場の大幅な縮小や税収の減少、日本人の美術鑑賞時間の減少などもあり、アートに対する縮小圧力は日に日に高まって来ています。しかしその一方で、アートへの潜在的なニーズが高まっているというデータも発表されており、アート業界がニーズを汲み取れてない現状も見えています。

私たちARTLOGUEは、アートへのニーズを少しでも汲み取り、一人でも多くの市民がアートに接する機会を得て、アートを楽しむきっかけをつくるために、ITなどを用いた新しサービスの開発を行っておられます。

○ **CuratorsTV** Life Innovated by Art : <http://www.curatorstv.com>

ギャラリートークのアーカイブ・インターネット配信サイト

○ **MoPA** The Museum of Public Art (Museum of Public Art) : <http://www.mopa.jp.net>

世界中のパブリックアートを集合知型でアーカイブするプロジェクト

※これらサービスはオープンソースプロジェクトになっています。

○ ARTLOGUE 理事

中川真（大阪市立大学 教授）総括

鈴木大輔（アートイノベーター）CEO・クリエイティブディレクター

加須屋明子（京都市立芸術大学 准教授）企画

洛西一周（Nota Inc. 代表）WEBディレクター・CURATORS TV 開発リーダー

山本祐輔（京都大学 研究プロデューサー）WEBエンジニア

芝田江梨（大阪市立大学文学研究科都市文化研究センター研究員）メールマガジン「ARTLOGUE mag」編集長

石原淳也（つくる社 CEO/CoderDojo）WEBディレクター・MoPA (Museum of Public Art) 開発リーダー

○ ARTLOGUE 監事

村尾法生（村尾法生税理士事務所 税理士・行政書士）

○ ARTLOGUE 顧問

建畠哲（京都市立芸術大学 学長、埼玉県立近代美術館長）

リリース予定サービス1



壁紙に毎日アートを
デスクトップマガジンアプリ

2015年冬リリース予定

「ARTS WALL」はユーザーのデスクトップの壁紙に毎日、現在展覧会会期中のアート作品をお届けするサービスです。美術館や主催者様より「ARTS WALL」にご提供頂いた広報用作品画像をランダムに掲載します。(基本掲載は無料)

新聞・雑誌、TV CM、WEBサイトの次は、ユーザーのデスクトップが新しいつながりを生むコミュニケーションの場になります。
2014年8月11日～10月1日のプレリリース(調査期間)には数千ダウンロードを記録し、好評を博しました。

現在、2015年冬を目標に、準備が整い次第サービスを開始いたします。



毎日違うアート作品がデスクトップに掲載されます。



ソランジュ・デビッド
ジャック・アントワネット・ラルティエグ
1929年 神戸ファッション美術館

「世界のファッション -100年前の写真と衣装は語る -」

今から100年前、1910年代の世界は、科学とテクノロジーが飛躍的に発展した新時代の期間により人々の生活が変化し、新しいものを求め、それに応えるかのようにファッション界も戻る勢いで進化していました。衣装産業の革命であるコレセッタからの解放が時代衣装を生み出し、印刷、発行技術の発達はファッション雑誌の発展を助け、飲食のモード情報が勢いで世界へと伝播していきます。都市における洋風化が進む一方で、地域の特色ある衣装をその土地の流行に合わせて作り、着こなす衣生活を続ける地域がまだ残っていました。

神戸ファッション美術館

2014年7月19日～10月7日

Twitterの公式

シェア:Twitter / Facebook



リンクをクリックするとブラウザが立ち上がり、展覧会や作家のサイトなどにアクセスします。

右下のシンボルから作品や展覧会に関する情報等が出てきます。また、Twitter、Facebookへのシェア機能や、Twitter上での反応もご覧頂ける機能もあります。

※1 作品画像の掲載は展覧会会期中及びプロモーション期間中に限りますのでご安心下さい。

※2 画像はユーザーのパソコンには残りません。

※3 掲載の有無や、掲載日などは弊社にお任せ頂きます。

※4 ご提供頂く画像は、横位置なら1920pixel、縦位置なら1080pixelサイズが目安になります。

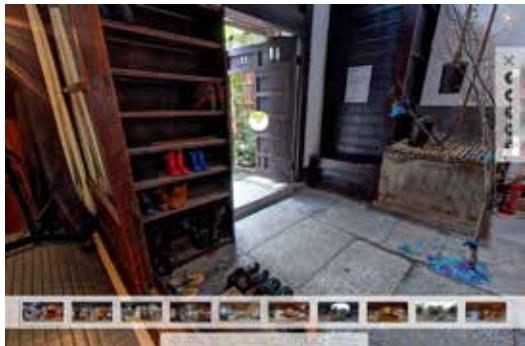
※5 掲載の選択肢をより多く頂きたいので、展覧会でご用意されている画像をなるべく多くお送り下さい。

リリース予定サービス2

CuratorsTV Panorama (仮称)

サンプルサイト

<http://panoramania.co.jp/world/curatorstv/>



サンプルサイト内の上記画像にあるリンクを押して頂くとサンプルビデオが流れます。

また、サンプルサイトで紹介している別の作品には作品名やキャプションなどが載っています。より作品のディテールを観て頂くためにも、こちらに高品質の作品画像も載せることができます。



ジャイロ機能が付いているスマートフォンやiPadなどでご覧頂くと、画面を向けた方の映像が見れます。VRヘッドセット Oculus Rift 等でご覧頂くと、まさにその場にいるかの様に感じられます。

「CURATORS TV Panorama (仮称)」は現在開発中の展覧会向け新たなアーカイブサービスです。

展覧会会場を全天球撮影(360度)し、各作品にはキャプションや解説ビデオをリンクさせます。

CURATORS TV Panorama (仮称)でアーカイブした展覧会情報を CURATORS TV サイト内やWEBで配信することにより、展覧会終了後も多くの方々に展覧会を臨場感を持ってご覧頂けます。英語字幕などを付けることによって海外の方々にも展覧会をご覧頂けるようになり、国際的に美術館や展覧会自体の発信力強化にもつながります。

WEBでの公開をしない場合も内部資料用としてアーカイブすることにより、今後の貴重な資料となります。また、何も展示されていない会場を撮影しておくことで、今後会場の利用を検討している遠方の作家などとの情報共有に利用することも出来ます。

「CURATORS TV Panorama (仮称)」は展示作品数や、会場面積などによってお値段が変わりますので、お気軽にお問い合わせください。

その他サービス

ARTLOGUEでは、上記以外にも有料、無料、様々なサービスをご用意しております。制作のご協力などさせて頂いた展覧会はSNSなどでも積極的に周知をしますので、お気軽にお問い合わせください。

- タイアップ CURATORS TV、タイアップ記事の制作
- プロモーション協力、メディア協力
- 宣伝美術やカタログの制作
- 展覧会、イベントの企画・運営
- 記録撮影・インターネット配信
- Web サイトの制作
- IT を活用した展示など
- 商品開発など

ARTLOGUE Pro ご登録のお願い

ご登録フォーム



<http://goo.gl/si1Ltg>

お問い合わせ、プレスリリースのご送付

ARTLOGUE(一般社団法人 WORLD ART DIALOGUE) 担当:鈴木

A 531-0071 大阪府大阪市北区中津3-25-2 北梅田パークレジデンス302

M contact@curatorstv.com T 06-6147-6977 F 020-4665-9667